

がんばれ!

子育て日記

大人の“^{あせ}焦り”が子どもを焦らしてしまう

今回は子どもについて考えてみる前に、“大人”や“親”について振り返ってみましょう。

よく、他人と比べると自分が劣っているとか遅れていると思っている人がいますよね。たとえば「お隣の奥さんは幸せそうなのに私はさえない…」とか、「わが家の^{しょうらい}将来が不安…」とか、こんな風に考えて不安になったり焦ったりしている人があなたの周りにいませんか？

こうした焦る気持ちが強い人は、知らず知らずのうちにその人の家族にまで^{えいきょう}影響を及ぼしてしまうそうです。

そして、とくに親の焦りの影響をうけやすいのが“子ども”なのだそうです。

親は自分の子どもの^{せいちょう}成長や^{べんきょう}勉強、^{うんどうのうりよく}運動能力をよその子と比べ、つい子どもをせかせてしまったり、子どもが^{のぞ}望まないのに早いうちから教育にかり立ててしまうこともあったり…

また、親が果たせなかった理想を子どもに押しつけてしまい、子どもが自分で人生を選択する自由をうばってしまうこともあります。

もちろん、それは子どもに対する愛情表現のひとつですが、「子どもを愛しているからこそ、早くから教育の^{きかい}機会を与えてあげた」と親はいても、これを“^{くつう}苦痛”に感じていたら、子どもは逆に愛情不足に感じて育ってしまうのだそうです。

ですから、もし、あなたが焦りの気持ちを感じたときは、まず自分の心と向き合う“ゆとり”をもってみてはいかがでしょうか。

そして、他人と比べるのではなく、自分にとって一番豊かに感じられることは何なのかを見つけてみましょう。

それがきっと、子どもや家族みんなの幸せにもなるのではないのでしょうか。

